

システム開発（変更）計画書

生活支援課 生活保護業務システム

<p>1 開発システム名（<u>新規</u>・変更） 生活保護業務システム（タブレットを活用した訪問活動システム）</p>	<p>6 出力帳票 なし</p>
<p>2 目的 生活保護業務を適正かつ迅速に遂行するため。</p>	<p>7 開発の効果 事務の大幅な効率化と安定・確実なシステム処理環境への配慮</p>
<p>3 開発システム概要 タブレット端末を活用した訪問活動支援業務の効率化</p>	<p>8 外部への資料提供 なし</p>
<p>4 現状・問題点及び開発の必要性 生活保護業務において、訪問調査事務は必要不可欠なものであるが、従来、訪問調査準備にあたり、ケース記録や資料を大量にコピーし、持参していた。 また、訪問後ケース記録を書くにあたっては、紙ベースで決裁を受ける等、大量の紙を消費していた。 タブレットによる訪問システムを導入することで、沢山の書類を持ち歩くという個人情報漏えいのリスクを軽減することができる。同時に、紙の消費を抑えることができ、環境への配慮にも対応できる。何より、事前準備及びケース記録作成について時間が短縮され、業務の効率化が図られる。</p>	<p>9 「5 記録項目」のうち外部へ提供しない事項 生活保護に関する個人情報</p>
<p>5 記録項目 氏名、住所、生年月日、性別、生活保護データ</p>	<p>10 委託処理 なし</p>
	<p>11 管理責任者 生活支援課長 上 村 浩 司</p>
	<p>12 実務責任者 給付係長 志 馬 公二郎</p>